

パブリックコメントで寄せられた意見の概要及び市の考え方

平成19年12月26日から平成20年1月24日までの間、海津市障害者計画(案)について意見等の募集を行った結果、1名の方から3件の意見をいただきました。これらの意見について適宜要約したうえ、項目ごとに整理し、それに対する市の考え方を次のとおり公表します。

海津市障害者計画(案)について 3件

意見の概要	件数	市の考え方
<p>バリアフリー社会を目指して、子ども達が幼い時から、障害のある子もない子も時々同じ場所で勉強をしたり運動をして共に学ぶことにより、助け合い人を思いやる優しい心を育むことができるものと思います。積極的な交流活動等、もっともっとインクルージョン社会にすべきと思います。</p>	1	<p>ご指摘のことにつきましては、本計画において療育・教育の重要事項として明記しています。特に学校教育について、今後さらに、特別支援学校をはじめとする障害者(児)関連機関との交流事業を促進し、児童・生徒が障害や障害のある人に対する正しい理解を得ることができるよう努めます。</p>
<p>居住地域で、短期入所等の障害者(児)サービスが受けることができるよう望みます。</p>	1	<p>本計画の生活環境の整備として記しており、グループホーム・ケアホームをはじめとして、障害のある方々の活動の場の確保に力を注いでいますが、今後もさらに、市内で医療・福祉の諸事業を展開する事業所とも協議を重ね、有効な障害福祉サービスの提供ができるように取組んでまいります。</p>
<p>今春開校する海津特別支援学校については地域との密接な交流に主眼を置いた運営を望みます。</p>	1	<p>市内に県立特別支援学校が開設されますことを、交流活動の絶好の機会と捉えまして、前述しましたように、この機会を有効に活用し、市内小中高等学校との交流さらには地域との積極的な交流が図れるよう県教育委員会に対しても要望をしております。</p>